

北 区役所 だより

自然・活力・安らぎにあふれるまち 一住みたくなるまち 北区

令和4年(2022年) 4月3日号

毎月第1・3日曜日発行
Vol.360

編集・発行 新潟市北区役所地域総務課

〒950-3393 新潟市北区東栄町1丁目1番14号 ☎025-387-1000(代表) ☎025-387-1020
ホームページ <http://www.city.niigata.lg.jp/kita/> 電子メール chiikisomu.n@city.niigata.lg.jp

北区 人口 72,293人(-89) 男 35,336人(-54) 女 36,957人(-35) 世帯数 29,533世帯(-17) ※令和4年2月末現在 カッコ内は前月比 住民基本台帳から

4 令和年度 特色ある区づくり予算と主な事業

「自然・活力・安らぎにあふれるまち 一住みたくなるまち 北区」の実現に向け、魅力ある農業の確立や地域商業の活性化のほか、地域防災力の向上に取り組むとともに、子育て支援や認知症予防など福祉の充実を図ります。また、自然や郷土の歴史などの特長を生かし、北区の魅力高める、地域との協働の取り組みを推進します。

問い合わせ 地域総務課 ☎025-387-1125

豊かな自然と共生するまち

●海辺の森共創の場づくり 460万円

海辺の森の保全活動をさらに発展させるため、地元住民の主体的な保全活動への支援や、コミュニティビジネス拡大への支援、交流人口拡大に向けた活動等を行います。



●松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり 290万円

●北区水辺環境の魅力発信 200万円

学びあい、健康で、人にやさしいまち

●大学連携「ひと・まち」づくり推進 140万円

新潟医療福祉大学の学生が「ひと・まち」づくりパートナーとして地域コミュニティ協議会や学校等で活動することにより、地域・学校との連携を深め、区の活性化につなげます。

●来て、見て、北区役所 20万円

区役所庁舎の交流スペース等を活用し、地域のにぎわいを創出します。また、区役所整備エリア内の公共施設の機能や情報を連携させ、相乗効果による利用者増加と区民の交流促進を図ります。

●北区子育ての応援 300万円

●北区エンジョイスports事業 150万円

●北区もの忘れ検診 80万円

●大学生による家庭介護セミナー 30万円

●木崎村小作争議100周年 130万円

活力ある産業のまち

●キタクなる魅力創造プロジェクト 300万円

ウィズコロナ・ポストコロナに対応できるマイクロツーリズムを意識した観光資源の整備・充実を目指し、新規観光客の開拓とリピーターの増加を狙います。

●次世代農業の普及 150万円

次世代の農業を支えるICT等の新技術を地域農業に普及させることにより、農作業の省力化や農産物の高品質化による付加価値向上を図り、「儲かる農業」の実現を目指します。

●地域商業賑わい創出プロジェクト 260万円

安心安全で暮らしやすいまち

●「高めよう互近^{ごきんじよ}助力」地域でつくる避難生活運営体制 160万円

住民主体の避難生活運営体制の実現を目指し、地域と協働したワークショップや防災訓練を実施します。また、地域防災活動を通して防災士のスキルアップを図ります。

主な事業 新崎駅自由通路整備事業 5,000万円

区自治協議会 提案事業

複雑・多様化する地域課題に対応し、市民力・地域力を生かしたまちづくりを進めるため、区自治協議会が提案し、主体となって取り組むものです。

■めざせ防災力向上!

災害に備え、防災を体験しながら学べるイベントを、ポストコロナを意識して企画し実施することにより、地域団体と協力しながら、幅広い世代に働きかけて、住民一人ひとり、また地域全体の防災力の向上を目指します。

■子が育ち、大人が育つまちづくり

定年退職後、地域活動に踏み出す一歩を後押しするため、基礎知識の習得やボランティア体験、活動している方との意見交換などを行う講座を実施します。また、地域活動に参加しやすくなるよう情報を整理し提供します。

■北区 魅力発信継承

豊かな自然や文化の魅力を理解し、継承していく人材を育成するため、自然・文化を学ぶ講座を実施します。また、学びたい人と専門家のマッチングを支援するため、各分野ごとの人材ガイドを作成します。

～地域の皆さまとともに～

北区長 高橋 昌子



新潟市が政令指定都市に移行し、北区が誕生して15周年を迎えました。これまで、地域の皆さまとの連携・協働により区の特徴を生かしたまちづくりを進めてまいりました。改めて皆さまのこれまでのご協力に感謝申し上げます。

今年度も、特色ある区づくり事業として「住みたくなるまち 北区」の実現に向け、皆さまとともに水辺環境の保全や情報発信、にぎわいの創出、防災対策などにしっかりと取り組んでまいります。

北区郷土博物館では、木崎村小作争議100周年を記念した企画展を5月下旬から8月下旬まで開催いたします。今回新たに地主側の調査を進め、小作側と地主側双方の資料を初めて展示いたします。これまでとは違う視点に立った興味深い内容となっていますので、期間中にぜひ足をお運びください。

さて、現行の区ビジョンまちづくり計画が最終年度を迎えるにあたり、皆さまのご意見をお聴きしながら、新しい計画の策定を進めています。将来の北区のまちづくりを共に考えていきましょう。

新型コロナウイルスの収束が見通せない状況ですが、引き続き新しい生活様式に努め、職員一丸となって地域づくりに取り組んでまいります。皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。